

コ・ラ・ム 「原点に帰って」



(社)著作権情報センター
理事長 斉藤 満雄

昨年の4月から著作権情報センターの仕事をさせていただいておりますが、その事業が非常に多種多様であることに驚かされております。

月刊「コピーライト」、「著作権関係法令集」、各種パンフレット等の発行から、「月例著作権研究会」、「市民のための著作権講座」、「著作権研修講座」等を、東京のみでなく全国各地で実施しており、さらにアジア地域における著作権制度の確立・著作権制度の相互理解を深めるため、講師の派遣、講演会や留学生に対する奨学金の支給等も行っており、著作権相談室における電話相談・面接相談や附属著作権研究所における著作権制度に関する調査研究を行う等と列挙しているときりがありません。

これらの事業の件数や参加者数の多さは、日本レコード協会、日本放送協会、日本民間放送連盟、日本音楽著作権協会の四団体で設立した当時の事業から考えると隔世の感がありますが、これは、この四団体のみでなく、関係する諸団体の皆様のご支援とご理解を得て、長年にわたり地道な活動を続けてきたこと、著作権の問題が重要であることが一般に認識されてきたことの結果であると思っております。

特に、平成6年度からは、「私的録音・録画についての報酬請求権制度および報酬の一部を著作権思想の普及事業、著作権に関する法制・技術面の調査研究等の共通目的に使用する制度」により、「私的録音補償金管理協会（SARAH）」の共通目的基金から助成金を受けて行う事業に着手したことから、事業の範囲と規模が飛躍的に拡大しております。

また、平成13年度からは「私的録画補償金管理協会（SARVH）」の共通目的基金からも同様に助成金を受けることとなり、ますます、当センターの共通目的事業の実施における役割の大きさ、責任の重さを感じさせられております。

しかし、今年度に引き続き、来年度もSARAHからの助成金が減額されますが、これは、著作権に関わる全ての皆様の為の団体であるという原点に帰って見直す絶好の時期であると考え、事業内容の充実と当センターの発展のために努力を重ねたいと思います。

Contents

Contents

THE RECORD……2003.2 No.519

●「原点に帰って」 (社)著作権情報センター 理事長 斉藤 満雄	2	電子透かし技術の有効性実証／当協会会長交替 他	
●2002年のレコード産業	3	●GOLD ALBUM 他 認定作品	13
●2002年ミリオン作品一覧	6	●統計資料	14
●公正取引委員会へ再販弾力運用報告書を提出	7	●レコード生産実績	15
●文化庁芸術祭	10		
●Information	11		
ファイル交換サービス運営会社の違法性認定			

2002年の レコード産業

2002年（1～12月）の当協会加盟24社（受託を含む）のオーディオレコードの総生産は、数量が3億4,235万枚・巻で前年比89%、金額が4,431億円で前年比88%となり、数量・金額共前年実績を下回りました。

オーディオレコードのうち、CDシングルは、数量で8,276万枚（前年比76%）、金額で605億円（前年比75%）と大幅なダウンとなりました。また、CDアルバムは、数量で2億4,592万枚（前年比95%）、金額で3,713億円（前年比91%）となりました。

このため、オーディオレコードの生産実績は4年連続マイナスとなり、邦盤・洋盤とも1991年の実績と並ぶ結果となりました。

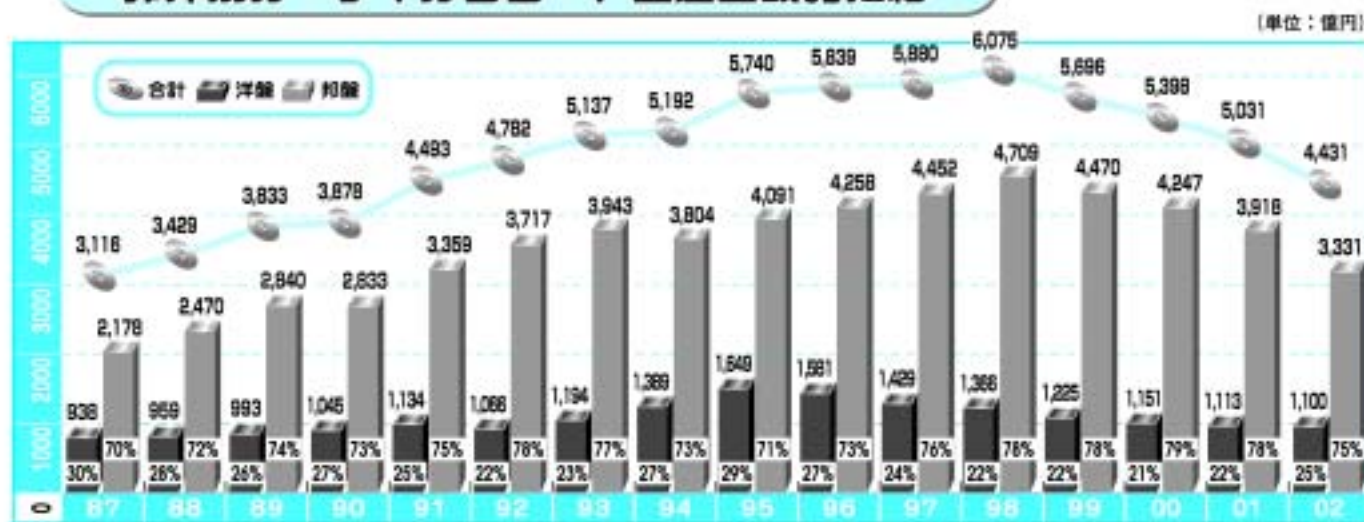
また、ビデオレコードのうち、DVDは、数量で5,384万枚（前年比139%）、金額で904億円（前年比110%）と昨年に引き続き伸長を遂げました。

2002年レコード総生産

種 類	数 量 (単位:千枚・巻) (%)	金 額 (単位:百万円) (%)
オーディオレコード	8cm CD	7,967 (81)
	12cm CD シングル	74,793 (75)
	シングル計	82,760 (76)
	12cm CD アルバム	245,919 (95)
	CD計	328,679 (89)
	アナログディスク	697 (54)
	カセットテープ	12,972 (86)
ビデオレコード	合計	342,348 (89)
	DVD	53,836 (139)
	LD・その他	1,853 (87)
	テープ	11,782 (70)
合計		67,471 (117)
総合計		409,819 (93)
【参 考】		
AV複合型レコード		120,571 (89)
		14,250 (88)

備考 1.単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
2.()内は対前年比。

邦洋別オーディオレコード生産金額の推移



備考 1.単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。 2.%は邦盤・洋盤それぞれの構成比。

オーディオレコード総生産数量・金額の推移

オーディオレコードの生産数量

		数 量 (単位:千枚・巻)				
		1998	1999	2000	2001	2002
コンパクトディスク	8センチ					
	邦盤	153,216	85,654	32,815	9,267	7,801
	洋盤	1,044	680	308	521	167
	計	154,206	86,333	33,124	9,788	7,967
	12センチ					
	シングル		59,775	103,677	98,315	73,371
	洋盤		1,370	924	1,290	1,421
	計		61,145	104,601	99,605	74,793
	アルバム	210,669	195,751	197,685	182,777	169,303
	洋盤	92,244	80,528	78,642	76,455	76,616
	計	302,913	276,279	276,327	259,233	245,919
	小計	363,885	341,180	334,177	290,359	250,475
アナログ	邦盤	363,885	341,180	334,177	290,359	250,475
	洋盤	93,288	82,578	79,875	78,267	78,204
	計	457,173	423,758	414,052	368,626	328,679
	アナログ					
	邦盤	838	2,538	1,609	1,087	573
	洋盤	347	447	305	210	124
	計	1,186	2,985	1,914	1,297	697
	カセット					
	邦盤	21,665	17,523	17,090	15,099	12,921
	洋盤	153	86	85	60	52
	計	21,818	17,608	17,174	15,160	12,972
	合計	386,388	361,241	352,875	306,546	263,968
	洋盤	93,789	83,110	80,265	78,537	78,379
	計	480,177	444,351	433,140	385,083	342,348

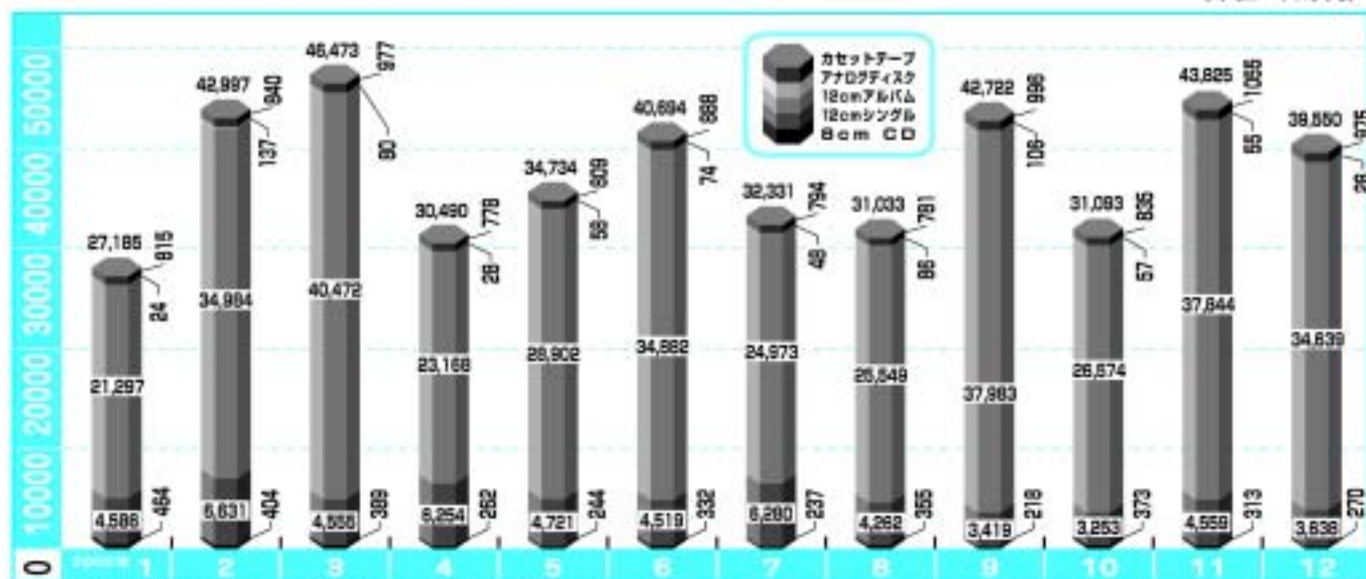
オーディオレコードの生産金額

		金 額 (単位:百万円)				
		1998	1999	2000	2001	2002
コンパクトディスク	8センチ					
	邦盤	94,881	53,689	14,949	3,840	3,808
	洋盤	597	387	96	45	53
	計	95,478	54,077	15,046	3,885	3,861
	12センチ					
	シングル		45,711	81,600	75,339	55,604
	洋盤		1,139	793	1,093	1,073
	計		46,850	82,393	76,432	56,677
	アルバム	357,012	330,046	312,743	299,381	262,590
	洋盤	135,389	120,322	113,697	109,880	108,678
	計	492,400	450,369	426,440	409,261	371,268
	小計	451,892	429,447	409,292	378,560	322,002
アナログ	邦盤	451,892	429,447	409,292	378,560	322,002
	洋盤	135,986	121,849	114,586	111,018	109,804
	計	587,878	551,295	523,878	489,578	431,806
	アナログ					
	邦盤	997	2,984	1,630	1,113	645
	洋盤	487	591	440	238	137
	計	1,484	3,575	2,069	1,351	782
	カセット					
	邦盤	17,966	14,596	13,791	12,080	10,495
	洋盤	166	84	77	52	46
	計	18,132	14,680	13,868	12,132	10,542
	合計	470,855	447,027	424,712	391,753	333,142
	洋盤	136,639	122,524	115,103	111,308	109,987
	計	607,494	569,551	539,816	503,061	443,129

(注) 数量・金額は単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
12cmCDは99年からシングルとアルバムに区分した。

オーディオレコード月別生産金額

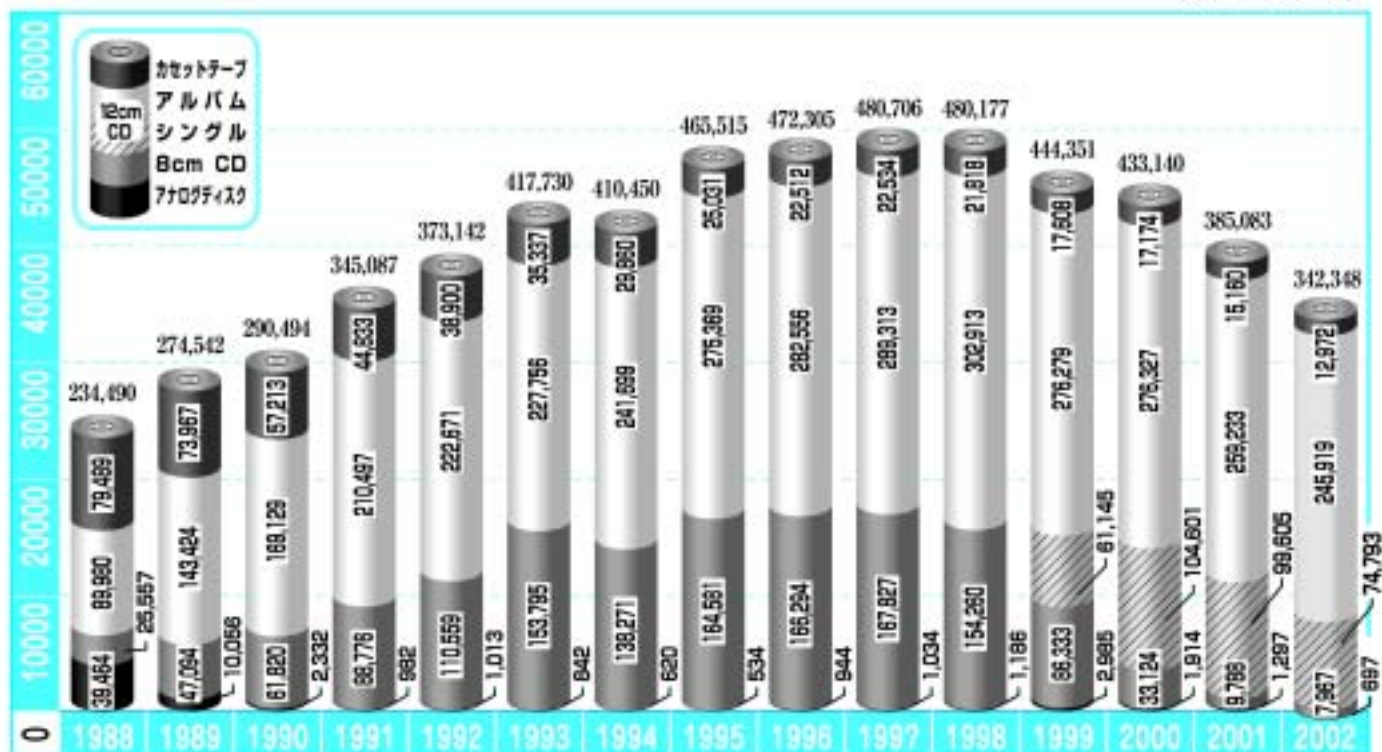
(単位:百万円)



(注) 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

オーディオレコード生産数量の推移

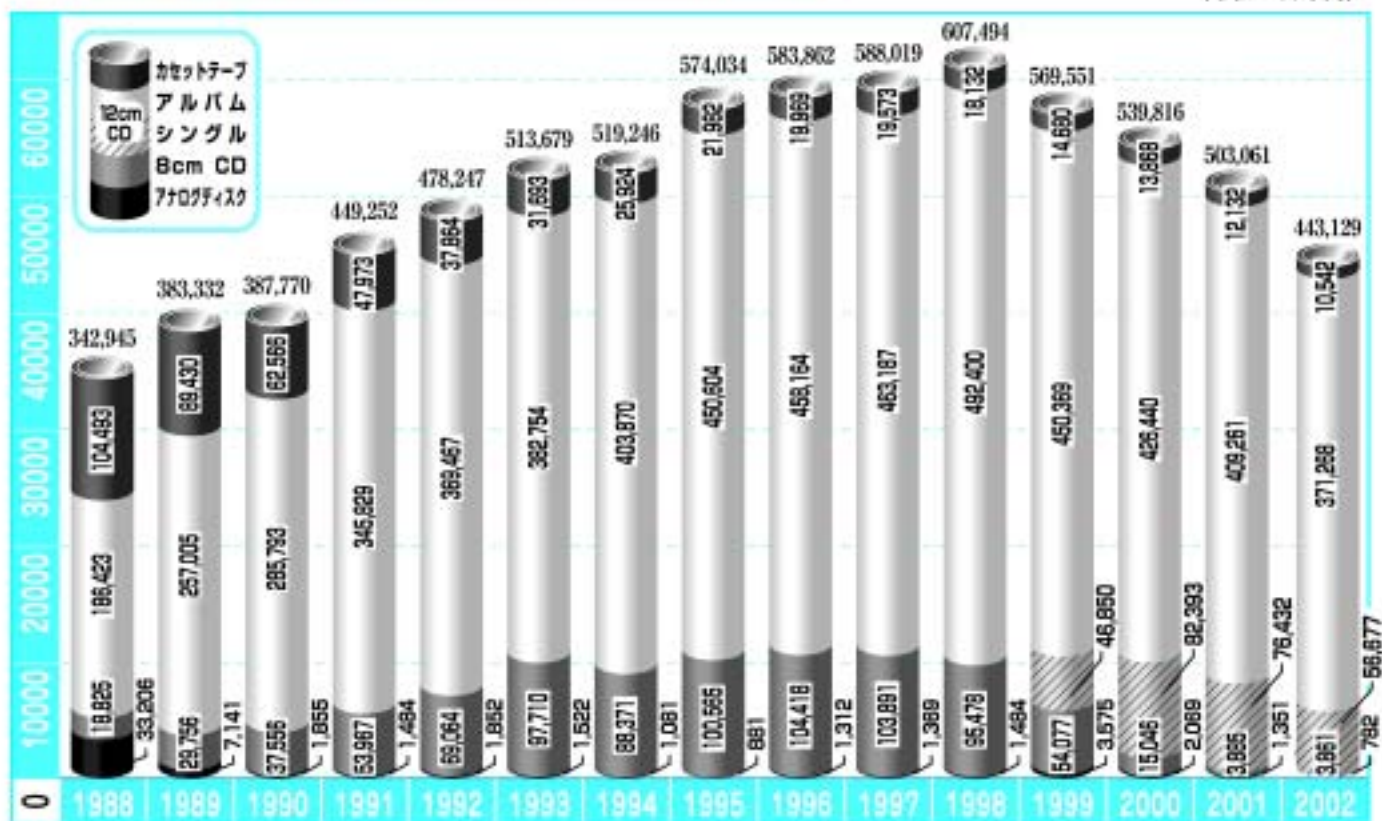
(単位：千枚・巻)



(注) 12cmCDは99年からシングルとアルバムに区分した。

オーディオレコード生産金額の推移

(単位：百万円)



(注) 12cmCDは99年からシングルとアルバムに区分した。

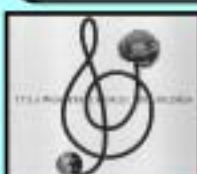
M

2002年ミリオンセラー MILLION SELLER in 2002

ALBUM & SINGLE

当協会では、一定基準枚数以上の売り上げを達成した作品の認定を行っています。そのデータを基に2002年のミリオンセラーをご紹介します。
※作品は、期間中に発売され、ミリオンに達したものです。

ALBUM ※注：以下は、アーティスト50音順です

DEEP RIVER  宇多田ヒカル 2002.06.19 (TO)	自己ベスト  小田和正 2002.04.24 (BMG)	ROCK AND ROLL HERO  桑田佳祐 2002.09.26 (V)	TOP OF THE POPS  桑田佳祐 2002.11.27 (V)
Second to None  CHEMISTRY 2003.01.08 (DF)	TRUE  中島美嘉 2002.08.28 (AI)	RAINBOW  浜崎あゆみ 2002.12.18 (AVT)	GREEN  B'z 2002.07.03 (BM)
The Ballads ~Love & B'z~  B'z 2002.12.11 (BM)	LISTEN TO MY HEART  BoA 2002.03.13 (AVT)	VALENTI  BoA 2003.01.29 (AVT)	MISIA GREATEST HITS  MISIA 2002.03.03 (BMG)
KISS IN THE SKY  MISIA 2002.09.26 (AVT)	IT'S A WONDERFUL WORLD  Mr.Children 2002.05.10 (TF)	TOKYO CLASSIC  RIP SLYME 2002.07.24 (WJ)	kiss ~dramatic love story~  Various 2002.07.10 (BMG)

SINGLE



浜崎あゆみ
2002.07.24
(AVT)

※AI:ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ/AR:アンティノスレコード/AVT:エイベックス/BE:ビーグラムレコーズ/BM:バーミリオンレコード/BMG:BMGファンハウス/C:コロムビアミュージックエンタテインメント/CR:日本クラウン/CT:カッティング・エッジ/DF:デフスターレコーズ/EI:エピックレコーズ・インターナショナル/EP:ゼティマ/ES:ソニー・ミュージック EK/Epic Records/EW:イーストウエスト・ジャパン/FL:フォーライフミュージックエンタテイメント/GZ:ギザ/JE:ジャニーズ・エンタテインメント/K:キングレコード/KS:ソニー・ミュージック EK/Ki/oon Records/PAR:プライエイド・レコーズ/PC:ポニーキャニオン/PG:ポリグラム/PI:パイオニアLDC/PO:ポリドール/PS:ポリスター/PZ:ピザ・オブ・デス・レコーズ/RR:ロードランナー・ジャパン/SI:ソニーレコーズ・インターナショナル/SN:SENHA & CO./SR:ソニー・ミュージックレコーズ/TE:テイチクエンタテインメント/TF:トイズ・ファクトリー/TJC:徳間ジャパンコミュニケーションズ/TO:東芝EMI/TRI:トライエム/UM:ユニバーサルミュージック/V:ビクターエンタテインメント/VAP:バップ/WJ:ワーナーミュージック・ジャパン/ZA:ヴァインレコーズ/ZJ:ゾンバレコーズ・ジャパン

ALBUM

小計 **16** 作品 昨年同期 小計22作品

SINGLE

小計 **1** 作品 昨年同期 小計6作品

合計

17 作品 昨年同期 28 作品

公正取引委員会へ再販弾力運用報告書を提出

昨年12月26日、当協会は、レコード各社による再販制度の更なる弾力運用と流通改善状況について、「音楽用CD等の再販制度の弾力運用への取組状況」（2002年10月31日現在）として取り纏め、公正取引委員会に提出しました。

以下が同報告書です。

公正取引委員会御中

音楽用CD等の再販制度の弾力運用への取組状況

社団法人日本レコード協会

2001年3月23日、「著作物再販制度」の取り扱いについて検討を行ってこられた貴委員会は、その検討結果を公表され、「当面同制度を存置することが相当である」との結論を出されました。と同時に、関係業界に対し、現行制度の下で可能な限り運用の弾力化等の取組みを進め、消費者利益の向上が図られるよう、非再販商品の発行・流通の拡大、各種割引制度の導入等による価格設定の多様化等の取組を行うよう提案され、その実施を要請されました。

レコード業界では、貴委員会から要請のあったレコード盤、音楽用CD、音楽用テープ（以下、音楽用CDという）の再販制度の弾力運用に関しては、1992年4月以降各社自主的に前向きに取組み、当時既に市販されるすべての音楽用CDに発売日から2年間の時限再販制度を完全導入した他、以降、毎年廃盤セールの実施、発売商品についての多種多様な価格帯の設定等を行ってきております。

更に、1998年3月の貴委員会の著作物再販制度の検討結果を受けて、レコード各社は、是正措置を求められた次の6項目①時限再販・部分再販等再販制度の運用の弾力化、②各種の割引制度の導入等価格設定の多様化、③再販制度の利用・態様についての発行者の自主性の確保、④サービス券の提供等小売業者の消費者に対する販売促進手段の確保、⑤通信販売、直販等流通ルートの多様化及びこれに対応した価格設定の多様化、⑥円滑・合理的な流通を図るための取引関係の明確化・透明化その他取引慣行上の弊害の是正に関しましても、引き続き弾力運用施策等を積極的に実施しています。

レコード業界では、国民から音楽用CDの再販制度維持に対し、一層のご理解が得られるよう、消費者利益の向上を目指し、音楽用CDの企画の多様性の確保、流通の合理化など、改善・改革に自主的に取組んで行きたいと考えております。

以下に、レコード業界で行っている著作物再販制度の弾力的な運用及び、流通の改善への取組状況を記します。

【音楽用CD等の再販制度に関する弾力的な運用と流通改善について】

1. 時限再販・部分再販等再販制度の運用の弾力化

①時限再販期間の短縮について

レコードメーカーは1998年4月以降、時限再販期間の短縮に取組み、同年11月以降発売された商品から各社順次にいわゆるシングル盤（邦盤、洋盤）及び洋盤アルバムを中心として従前発行後2年間であった時限再販期間を1年または6ヶ月に短縮してきた。

更に、売上げの多くを占める邦盤アルバムについても2000年5月に東芝EMI社が2年間から1年間に短縮、同年8月にソニー・ミュージックエンタテインメント社が2年間から6ヵ月間に短縮したのを皮切りに、2001年2月から順次、多くのメーカーが、時限再販期間を1年間に短縮した。また、シングル盤（邦盤、洋盤）及び洋盤アルバムについても多くのメーカーが6ヶ月に短縮している。

②時限再販期間経過後商品の値引販売について

1998年4月以降、大手レコード店をはじめ地域専門店においてもメーカーの協力を得て実施している。なお、値引販売を行うことによって拡売が見込まれるものについては、各社の営業施策の一環として、販売店ともより協力的且つ柔軟に対応して、時限再販期間経過後商品の店頭値引セールを更に拡大していく。

③インターネット廃盤セールの実施

特に廃盤については、レコード業界全体で「廃盤セール」を1992年から開催しているが、2001年から、全国の音楽ファンに伝えるため、それまでの会場を使つての即売会方式から、インターネットを利用した「廃盤セール」に変更し、開催期間もこれまでの2日間から14日間と期間を延長し、実施している。

第11回目となる2002年の開催概要は以下の通り。

名称：新品CD大ディスカウントフェア
～レコードファン感謝祭2002 廃盤特別謝恩セール～

日程：2002年10月31日（木）～11月13日（水）
出品商品：種類3,700タイトル、総数11万枚、廃盤は定価の70%引きで販売。

ホームページアドレス URL：

<http://fair.jmd.ne.jp>

更に、この廃盤の販売については、個々のメーカーが取扱いを希望する販売店と組んで、販売店自らがインターネットを利用して販売できるよう研究を進める。

④非再販商品の発売について

当初から非再販商品として発行することについては、従来からインディーズ商品について実施され、2000年5月以降、一部メーカーが洋楽ポピュラー、クラシック等のCDアルバムについて実施してきているが、邦楽CDアルバムについても、2001年7月以降、多くのメーカーから順次、非再販商品が発売されている。

個々のメーカーは、消費者利益の観点に立ち、どのような非再販CDの企画がビジネスの拡大に繋がるか調査研究し、可能なものがあれば発売する。

なお、各メーカーが非再販CDとして発売可能性のあるものとしては、国内制作音源等で「非再販CDとして発売することについて、著作者・アーティスト等の権利者の了解を得られたもの」が挙げられる。

この中には、通販・訪販商品、特販商品、インディーズ商品、その他で権利者の了解を得られたものも含まれる。

⑤価格表示方法の変更について

関係業界において、商品が非再販となっているか否かを認知しやすくするため、2001年4月以降、時限再販期間や当初から非再販商品として発行された商品の価格の表示方法を変更した。

これまでCDの表示に関する業界推奨規格を纏めた日本レコード協会規格「RIS204／オーディオCDの表示事項及び表示方法」では、時限再販期間に関して「再販価格適用期限を発売日の表示に近接した位置に記載する。」と規定していたが、2001年3月16日付けでこれを「再販価格適用期限を定価の表示に近接した位置に記載する。」と改正した。

この改正に併せて、同規格に価格表示推奨例を掲示することとし、再販商品の価格表示推奨例を掲示すると共に、非再販商品の価格表示方法についても、「希望小売価格」「標準価格」等

の文言を使用した推奨例を掲示した。

非再販商品として発行される商品の価格表示方法については、流通・取引慣行ガイドラインの趣旨に沿って、「希望小売価格」「売価」「標準価格」等の表現を使った非拘束的な用語を用いるよう、会員社に徹底し、順次実施されている。

2. 各種割引制度の導入等価格設定の多様化

①レコード店において、図書館、学校、カラオケ教室等に販売する場合に値引きを行う例がある。また、関係業界において、2001年4月以降、これらの値引きが再販制度の下でも例外として実施可能であることを確認する。

各メーカーは、音楽文化の発展・育成に協力していると考えられる公立図書館、学校、カラオケ教室等が時限再販期間内のCDをレコード販売店等を通じて購入する場合、販売店独自の価格設定を可能とするように、「特約店契約書」の再販価格指定に関する条項について、例えば「但書き通知書」や「覚書」等によって契約特約店での再販制度の弾力的運用が拡大するよう検討していく。

②各メーカーは、販売店が大量一括購入する場合等における価格設定（リベートを含む）の多様化については、販売施策の一環として取り組んでいる。

③設定される価格は、更に多様化している。また、旧音源等を利用したアルバムでは、1,000～2,000円程度の廉価盤商品の発行も一層拡大している。

3. 再販制度の利用・態様についての発行者の自主性の確保

再販制度の利用については、従来から会員各社の自主性が尊重されており、今後とも、この基本精神は変ることではない。

4. サービス券の提供等消費者に対する販売促進手段の確保

サービス券・ポイントカード等の利用については、販売店は1979年の公正取引委員会の指導もあって、値引きという考えではなく個々の販売店の販促・ユーザーサービスの一環として実施しており、既に消費者へのサービス提供の手段として定着している。

今後もこのユーザーサービスは、各店の判断で続けられ、実施店は更に増加していくと考えられる。

5. 通信販売・直販等流通ルートの多様化及びこれに対応した価格設定の多様化

①インターネットを利用したCDの通信販売事業者は、全国で数十社あるといわれ、送料の無料化・割引やポイントカード制を実施する事業者もある。

各販売店は、各メーカー協力の下、販路拡大の一施策として、インターネット利用によるCD等の通信販売事業に積極的に参入してきている状況にある。

また、各メーカーは、今後も流通ルートの多様化の一環として、自社ホームページ等を通じて一部市販商品（輸入盤含む）やレコード店流通以外で販売している企画商品、教育用限定商品等の通信販売に取り組む。

②インターネットを利用した音楽配信は今日広く行われており、メーカー各社は自社のホームページを使用して、新譜CD等が無料で聴ける試聴サービスを実施している。販売店においても、高速大容量配信ネットワーク型の音楽検索試聴システムが導入され始めている。

また、有料の音楽配信事業には、1999年12月にソニー・ミュージックエンタテインメント社がレコード業界で始めて参入したのを皮切りに、当協会加盟の殆どの社が音楽配信事業に参入している。我が国の有料音楽配信ポータルサイト（プラットホーム）には、「レーベルゲート」「アークスター・ミュージック」「ドゥーブ・ドットコム」等の他十以上のサイトがある。

各メーカーが実施または実施予定している音楽配信のタイプは、現時点においては店頭（キオスク）型、家庭型、移動体（モバイル端末）型の3つに大別される。一部メーカーの中には、中堅アーティストの未発表曲をシングルCDで発売せず販売店のサイトを通じて有料配信（試聴も可）を実施する等、インターネットの更なる普及、ブロードバンド（広帯域）時代の到来に伴い、各メーカーは、これらの音楽配信については今後も音楽コンテンツの流通ルートの多様化の一環として取り組んで行く。

6. 取引関係の明確化・透明化その他取引慣行上の弊害の是正

①従前から、メーカーが共同で受注・物流会社を設立しており、効率的・合理的に物流業務を行っている。また、販売店からの受注には、原則として注文の翌日に全国のレコード店に配達

できるシステムが構築されている。

②販売店のPOSシステム支援のため、商品マスターのデータベースを構築・運営し、「れこーどばん」によるPOSシステム用商品カタログデータの提供（契約会社に対する有料サービス）を実施している。2001年9月からは「れこーどばん」に各商品の収録曲目を追加したより充実した内容のデータベース提供を可能とし、「新れこーどばん（eCATS）」の提供サービスを始めた。

③当協会会員各社は、「新れこーどばん」及び「店頭試聴機用の試聴音源データベース」の作成、管理、運営を行うための新会社「株式会社ジャパンミュージックデータ」（資本金・1億円）を2000年6月1日に設立した。同社は、「新れこーどばん（eCATS）」及び「試聴音源を提供する為の試聴音源データベース」等のシステムの運営、管理を行っている。

7. その他

①1万円で1万5000円分の「音楽ギフトカード」が買える音楽ファン感謝キャンペーンの実施

レコード各社等が出資している日本レコード普及社では当協会の協力の下、1999年4月から標記のレコード5%引きに相当する1万円で1万5000円分の「音楽ギフトカード」が買える音楽ファン感謝キャンペーンを実施し、発行部数5万セット（5億円分）限定で実施した。

2000年11月、2001年11月にも同様のキャンペーンを3万セット（3億円分）限定で実施した。

また、2002年11月から、同様のキャンペーンを実施し、発行部数3万セット（3億円分）限定で発売される。今後も適宜、実施して行く予定である。

②著作者等との契約等については、著作者・アーティスト等の収入に直接関わる大きな問題であるが、「仕切価格ベース」契約の可能性について、今後更に研究していく。

以上の通り、日本レコード協会会員各社は、日本の音楽文化を育てている音楽用CD、レコード等の再販制度を消費者利益の観点からこれまでも弾力的に運用し、流通改善を進めてきましたが、この報告書に記載の通り、前回の報告以降も、再販制度の更なる弾力運用と流通改善に積極的に取り組んでいます。

以上

平成14年度 文化庁芸術祭 贈呈式開催

平成14年度(第57回)芸術祭贈呈式が、2003年1月16日(木)、千代田区紀尾井町の赤坂プリンスホテル 五色「赤瑛」で開催されました。

この芸術祭は、広く一般に内外の優れた芸術作品を鑑賞する機会を提供するとともに、芸術の創造とその発展を図ることを目的に、昭和21年以来、毎年秋に開催されています。

演劇、音楽、舞踊、演芸、テレビ、ラジオ、レコードの各部門への応募作品の中から、審査委員による審査が行われ、優れた成果を上げた芸術家や団体に對し、大賞、優秀賞、放送個人賞が贈られました。レコード部門からは、大賞1作品、優秀賞3作品が選ばれましたので、以下に、作品一覧に掲載されたコメントと共に4作品をご紹介します。

■大賞

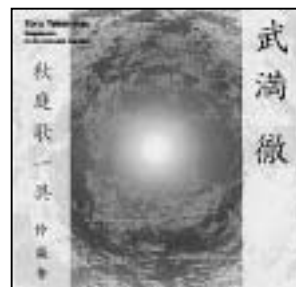
〔エイヴィアン〔鳥〕・・・アルディッティSQプレイズ西村 朗【西村 朗 作品集5】〕
株式会社カメラータ・トウキョウ



演奏技術の点でも表現内容の多様さの点でもきわめて至難な西村朗の弦楽四重奏は、この作曲家の室内楽分野の代表作であるが、全3曲を超絶的なアンサンブルと破格の緊張感をもって演奏している。作品の完成度と演奏の完成度の両面で充実したCDとして、単に現代音楽の聴き手を越えて広く聴かれるべきものである。

■優秀賞

〔武満 徹：秋庭歌一具／伶楽舎〕
株式会社ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル



日本の伝統楽器を現代的脈絡の中で展開した作品として傑出したこの楽曲の完成から四半世紀近く経て、このCDの演奏は、演奏者と楽曲とが深く馴染み、より豊潤に熟した質の高いものとなっている。このような演奏を楽家出身でない若手を中心とする伶楽舎が実現している点も評価される。録音技術的にも、ステージ上の演奏者の配置がわかる奥行きのある音響採録に成功している。

■優秀賞

〔ソフトリー／小林 桂〕
東芝EMI株式会社



「ソフトリー」は本邦ジャズ・ヴォーカル界に新風を吹込んできた小林桂の第5作目となるアルバム。今回も得意のアメリカン・スタンダードを個性的なヴォイスとしなやかなリズム感で情感豊かに歌い上げている。ラテンやボサノバのリズムも採り入れた編曲(小林洋、石井彰)も秀逸でコンボ、ビッグ・バンド、ストリングスなど多彩な伴奏陣の好演も光っている。

■優秀賞

〔ポエム・ハーモニカ／崎元 譲&御喜 美江〕
株式会社カメラータ・トウキョウ



ハーモニカは身近な楽器でありながら、必ずしも正当に評価されているとは言えない。この崎元譲によるアルバムは、御喜美江(アコーディオン)の好サポートを得て、これまでのハーモニカに対する偏見をくつがえした。たとえばイヴェル「水売り女」における巧まざるユーモアは、この楽器の多様な可能性をみごとに体現している。

ファイル交換サービス運営会社 (日本MMO社)の違法性認定 東京地方裁判所が中間判決下す

1月29日、東京地方裁判所は、インターネット上におけるファイル交換サービス「ファイルログ」を提供していた(有)日本エム・エム・オー(東京都八王子市)及びその代表者である松田道人氏に対し、同社の運営していたファイル交換サービス「ファイルログ」が、当協会会員等19社の送信可能化権及び(社)日本音楽著作権協会(JASRAC)の自動公衆送信権等を侵害しており、同社及び松田氏には損害賠償責任があるとの判決を下しました。

この判決を受け、JASRACと当協会は、同日午後4時から千代田区のキャピトル東急ホテルにおいて、共同記者会見を行いました。この記者会見には、JASRACから吉田理事長・加藤常務理事・田中弁護士、当協会から富塚会長・生野常務理事・前田弁護士らが列席しました。

今回の判決は、上記19社が、昨年2月28日、日本エム・エム・オー社に対し市販の音楽CDから作成されたMP3ファイルをサービスの対象としないこと、並びに同社及び松田氏に対し約1億5,100万円の損害賠償等を求めたことに対し、権利侵害行為の主体及び損害賠償責任の有無に関する判断を中間判決の形で行ったものです。

JASRACの訴えについても、同様の判決が下されましたが、具体的な差止の範囲及び損害賠償金額については引き続き審理が行われ、終局判決が下されることとなります。

日本エム・エム・オー社は、一昨年11月1日にインターネット上に「ファイルログ」

日本語版サイトを開設、このサービスを利用するために必要なソフトウェアを無料で配布し、ファイルログサーバに接続した多数の利用者間で直接にファイルを送受信可能としていましたが、昨年1月のJASRAC及び当協会の調査では常時交換可能な状態にあった7万以上のMP3ファイルのほとんど全てが、市販の音楽CD等から作成された権利侵害物と確認されていました。

既に裁判所は、昨年4月9日、上記19社の申請に基づき日本エム・エム・オー社に対し差止を命ずる仮処分命令を下していましたが、本日の判決においても、同社が、音楽CDの送信可能化権を侵害する行為の主体であると判断し、更に同社及び松田氏が連帯して損害賠償責任を負うと認定したものです(尚、同社は、上記仮処分命令を受け、昨年4月16日からサービスを停止しております)。

今回の判決は、国境のないインターネットの世界において、我が国が“Pirate Paradise”(海賊天国)となることを防止し、また著作権保護に関する国際調和の観点からも大きな意義をもつものです。

当協会は、「音楽創造のサイクル」を崩壊させ音楽文化の衰退をもたらす、このようなインターネット上におけるコンテンツの違法利用に対し、今後とも断固たる姿勢で対処していく所存です。



1月29日記者会見(於キャピトル東急ホテル)

JASRAC・RIAJ、電子透かし 技術の有効性実証について 記者会見を開催

(社)日本音楽著作権協会(JASRAC)と当協会は、1月22日(水)、千代田区のキャピトル東急ホテルにおいて、昨年実施した電子透かし技術を利用した実証実験についての説明会を行い、それぞれ以下の成果があったことを報告しました。

<JASRAC>

違法著作物データ監視システム(J-MUSE)において、インターネット上で違法に利用されているCD音源や放送コンテンツの発見や侵害物を特定すること。

<RIAJ>

FM放送事業者等の協力の下、CD音源の放送利用実態を電子的かつ自動的に把握することが技術的に可能であること。

JASRACから加藤常務理事・菅原送信部部長、野方送信部ネットワーク課長、当協会から田中事務局次長が列席した説明会には、マスコミ関係者をはじめ、約90人が出席するなど、本実験に対する関心の高さがうかがえました。

「知的財産保護官民合同訪中団」 概要報告

政府関係者と国際知的財産保護フォーラム参加メンバーによる「知的財産保護官民合同訪中団」は、昨年12月2日から6日の間、北京、杭州、広州の3箇所の中央政府機関と地方政府機関を訪問しました。

これは、政府関係者20名(西川経産副大臣ほか、経産省、内閣官房、外務省、文化庁、特許庁)と民間約70名(国際知的財産保護フォーラム会員、現地

企業、通関)で構成され、日本の特許、商標、意匠等の産業財産権と著作権の保護強化の要請と意見交換をするために、中国の中央政府と地方政府の各行政機関を訪問したものです。

同訪中団の各中国政府機関に対し、共通事項として、①模倣品・海賊版取締りの一層の強化(特に再犯者、悪質者への取り締まり徹底)、②地方政府への指導・監督の強化、③司法制度の充実(知財専門家の育成)、を要請しました。

また、コンテンツ(著作権)関係については、北京の国家版權局他、各省の版權局を訪問し、

- (1)訪中団代表から「共通要請事項」を申し入れ、
- (2)政府代表から、現在も海賊版があとを絶たないことを指摘しつつ、民間の海賊版対策をサポートすること等、ミッションにおける政府の立場を説明しました。引き続き、
- (3)コンテンツ関係代表からコンテンツ海外流通促進機構設立の経緯説明と海賊対策の必要性を訴求すると共に、新たな法制の下で取り締まりが強化されているが、まだ改善の余地があるとして、①刑事罰適用の要件緩和、②行政処分のための要件緩和と手続きの明確化、③版權局と公安部の連携強化、④海賊版に関する情報交換/要望等の受付窓口の設置を要請しました。

タイ政府、海賊版取り締まりを強化

タイ政府は、横行する海賊版の取締り強化策として、海賊版を販売する店舗に加え、販売場所となっているショッピングモール等の所有者に対し

でも、取り締まりを強化する方針を明らかにしました。

今回の取り締まり強化の背景には、国際貿易における交渉力強化と“海賊天国”の汚名を返上したいという同政府の意向があり、音楽、コンピュータ・ソフトウェア、映画等の海賊版の販売場所となっているバンコク市内の主要ショッピングモールや商業地区12カ所についても、具体名を挙げる等、取り締まりに向けた断固とした姿勢を見せています。

タイの現行の知的財産法では、海賊版のソフトウェアや音楽の海賊製品を製造、販売した者に対し、5年以下の懲役、または2,250米ドル以下の罰金が課せられます。

(ビルボード2003.2.8)

第17回日本ゴールドディスク大賞授賞式について

当協会主催「第17回日本ゴールドディスク大賞」授賞式を以下の通り実施いたします。

■日時 2003年3月12日(水)

開場:午後6時00分

開演:午後7時00分

終演:午後9時20分(予定)

■開場 NHKホール(東京・渋谷)

■放送予定

・NHK衛星第2テレビ

2003年3月12日(水)

午後7時~午後9時20分(予定)

・NHK総合テレビ

2003年3月20日(木)

午前24時15分~25時30分(予定)

・デジタルハイビジョン

2003年3月14日(金)

午後7時30分~9時50分(予定)

■問い合わせ先

(社)日本レコード協会

TEL:03-3541-4411

当協会会長交替

1月31日、臨時総会が開催され、富塚勇現会長の後任として、依田巽当協会副会長(エイバックス株式会社代表取締役会長兼社長)が満場一致で選任されました。新会長の就任は3月1日、任期は2004年5月末日までとなります。また、富塚会長は、2001年4月1日に当協会会長に就任し、現在2期目に入っておりましたが、2月末をもって当協会理事も退任の予定です。

『日本レコード協会60周年記念誌 激動と挑戦の10年』発行

当協会では、協会設立60周年を記念し、『日本レコード協会60周年記念誌 激動と挑戦の10年』を発行しました。

今年の新年会において配布された本記念誌は、ソフト産業、デジタル技術、著作権制度、再販制度といった側面から、2002年までの10年間を振り返る内容となっています。



2003年1月会議メモ(主なもの)

(1月1日~1月31日)

- 1・10 レコード倫理審査会
- 1・14 法制委員会
- 1・15 マーケティング委員会
- 1・16 情報・技術委員会

- 1・17 広報委員会
- 1・24 執行委員会
- 1・31 理事会

GOLD ALBUM 他認定作品

2002 年 12 月度

アルバム(18作品)

< 邦 楽 >

■2ミリオン

TOP OF THE POPS/
桑田佳祐/2002.11.27(V)

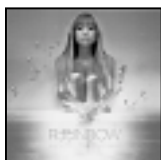


■クワドラプル・プラチナ

The Ballads ~ Love & B'z ~
/B'z/2002.12.11(BM)



RAINBOW/浜崎あゆみ/
2002.12.18(AVT)



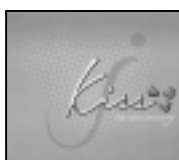
■トリプル・プラチナ

TRUE/中島美嘉/
2002.08.28(AI)



■ミリオン

kiss~dramatic love story~/
Various/2002.07.10(BMG)



■プラチナ

アカペラ/ゴスペラーズ/2002.12.04(KS)
TRUE SONG/Do As Infinity/2002.12.26(AVT)
Second to None/CHEMISTRY/2003.01.08(DF)

■ゴールド

THE BADDEST III/久保田利伸/2002.12.04(SR)
Sugar High/鬼束ちひろ/2002.12.11(TO)
月天心/一青 窈/2002.12.18(C)
F album/Kinki Kids/2002.12.26(JE)

< 洋 楽 >

■トリプル・プラチナ

WOMAN 2/VARIOUS/2001.09.19(SI)
ニュー・イヤール・コンサート 2002/小澤征爾&ウィーン・フィル
/2002.01.19(UM)

■プラチナ

スマッシュ/OFFSPRING/1994.11.17(SI)
カモン・カモン/シェリル・クロウ/2002.04.03(UM)

■ゴールド

グレイテスト・ヒット/ビョーク/2002.10.28(UM)
ダズ・ディス・ルック・インフェクテッド?/Sum41/2002.11.25(UM)

シングル(9作品)

< 邦 楽 >

■ダブル・プラチナ

大きな古時計/平井 堅/2002.08.28(DF)

■プラチナ

Ring/平井 堅/2002.11.07(DF)
HERO/Mr.Children/2002.12.11(TF)

■ゴールド

涙そうそう/夏川りみ/2001.03.23(V)
もらい泣き/一青 窈/2002.10.30(C)
ding-dong/glider/TOKIO/2002.12.04(UM)
Make my day/倉木麻衣/2002.12.04(GZ)
JEWEL SONG/BESIDE YOU-僕を呼ぶ声-/BoA/2002.12.11(AVT)
UNTITLED 4 ballads/Every Little Thing/2002.12.18(AVT)

※AI：ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ/AR：アンティノスレコード/AVT：エイベックス/BG：ビーグラムレコーズ/BM：バーミリオンレコード/BMG：BMG ファンハウス/C：コロムビアミュージックエンタテインメント/CR：日本クラウン/CT：カッティング・エッジ/DF：デフスターレコーズ/EI：エピックレコーズ・インターナショナル/EP：ゼティマ/ES：EPIC レコードジャパン/FL：フォーライフミュージックエンタテイメント/GZ：ギザ/JA：ジェイ・ストーム/JE：ジャニーズ・エンタテイメント/JF：J-FRIENDS P./K：キングレコード/KS：キューンレコード/MH：ソニー・ミュージックハウス/PAR：ブライエイド・レコーズ/PC：ポニーキャニオン/PG：ポリグラム/PI：パイオニア LDC/P0：ポリドール/PS：ポリスター/PZ：ピザ・オブ・デス・レコーズ/RR：ロードランナー・ジャパン/SI：ソニーレコーズ・インターナショナル/SN：SENHA & CO./SR：ソニー・ミュージックレコーズ/TE：テイチクエンタテインメント/TF：トイズ・ファクトリー/TJC：徳間ジャパンコミュニケーションズ/TO：東芝 EMI/TRI：トライエム/UM：ユニバーサルミュージック/V：ビクターエンタテインメント/VAP：バップ/V2：ヴィッツレコーズ・ジャパン/WJ：ワーナーミュージック・ジャパン/ZA：ジャインレコーズ/ZJ：ゾンバ・レコーズ・ジャパン

ゴールド アルバム 認定基準枚数 一覧

*5ミリオン以上は100万枚
単位で認定が上がります。

[邦 楽]	略 号	最低正味出荷枚数
		アルバム/シングル
ゴールド	G	累計200,000 以上
プラチナ	P	400,000
ダブル・プラチナ	PP	800,000
ミリオン	M	1,000,000
トリプル・プラチナ	PPP	1,200,000
クワドラプル・プラチナ	PPPP	1,600,000
2ミリオン	2M	2,000,000
3ミリオン	3M	3,000,000
4ミリオン	4M	4,000,000
5ミリオン	5M	5,000,000

[洋 楽]	略 号	最低正味出荷枚数	
		アルバム	シングル
ゴールド	G	累計100,000枚以上	50,000
プラチナ	P	200,000	100,000
ダブル・プラチナ	PP	400,000	200,000
トリプル・プラチナ	PPP	600,000	300,000
クワドラプル・プラチナ	PPPP	800,000	400,000
ミリオン	M	1,000,000	
2ミリオン	2M	2,000,000	
3ミリオン	3M	3,000,000	
4ミリオン	4M	4,000,000	
5ミリオン	5M	5,000,000	

2002年1月～12月新譜数

2002年(平成14年)の1月～12月に発売された新譜数を集計しました。

図1 オーディオレコード新譜数

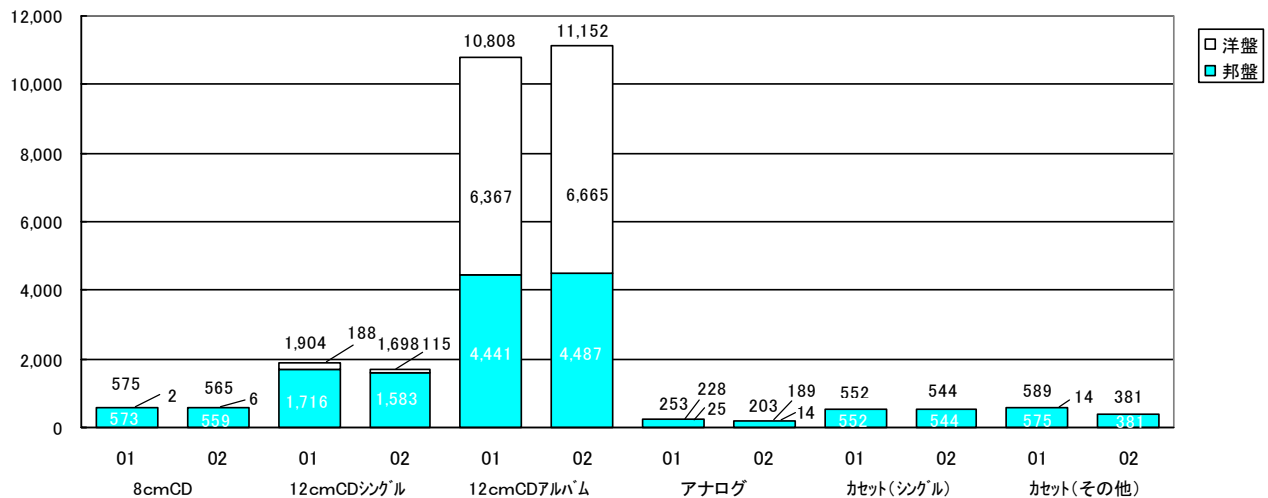


表1 オーディオレコード新譜数

単位:枚・巻 (参 考)

			8cmCD	12cmCD			アナログ	カセット		合計	複合型		
				シングル	アルバム	計		シングル	その他		CD-G	その他	
邦盤	歌謡曲	演歌	477	61	365	426	0	481	275	1,659	0	0	
		ポップス・歌謡曲	40	518	741	1,259	68	35	12	1,414	0	0	
		ニューミュージック	15	844	2,087	2,931	116	2	8	3,072	0	1	
		小計	532	1,423	3,193	4,616	184	518	295	6,145	0	1	
	軽音楽	民謡・純邦楽	9	9	77	86	0	24	49	168	0	0	
		教育・教材・童謡・童話	0	6	111	117	0	2	12	131	0	0	
		アニメーション	17	123	616	739	0	0	17	773	0	0	
		クラシック	0	3	110	113	0	0	0	113	0	0	
		カラオケ	0	0	1	1	0	0	0	1	44	69	
		その他	1	17	195	212	5	0	1	219	0	44	
		邦盤計	559 (98%)	1,583 (92%)	4,487 (101%)	6,070 (99%)	189 (83%)	544 (99%)	381 (66%)	7,743 (96%)	44 (73%)	114 (82%)	
		洋盤	ポピュラー	ロック・ディスコ	5	83	2,573	2,656	4	0	0	2,665	0
	ジャズ・フュージョン			0	4	1,194	1,198	9	0	0	1,207	0	0
ポピュラーソング	0			25	592	617	0	0	0	617	0	0	
映画音楽	0			0	233	233	1	0	0	234	0	0	
その他	1			0	92	92	0	0	0	93	0	0	
小計	6			112	4,684	4,796	14	0	0	4,816	0	0	
クラシック	クラシック		0	0	1,939	1,939	0	0	0	1,939	0	0	
	その他		0	3	42	45	0	0	0	45	0	1	
	洋盤計		6 (300%)	115 (61%)	6,665 (105%)	6,780 (103%)	14 (56%)	0 -	0 -	6,800 (103%)	0 -	1 -	
合計			565 (98%)	1,698 (89%)	11,152 (103%)	12,850 (101%)	203 (80%)	544 (99%)	381 (65%)	14,543 (99%)	44 (73%)	115 (83%)	

備考: () 内は対前年比

図2 ビデオレコード新譜数

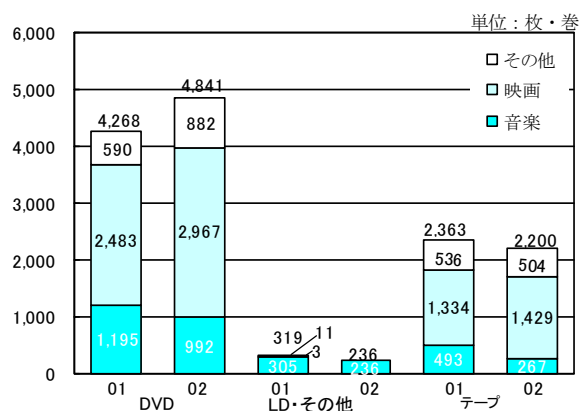


表2 ビデオレコード新譜数

単位: 枚・巻

種 類		ディスク		テープ	合計
		DVD	LD・その他		
音楽	邦 楽	462	2	221	685
	洋 楽	429	0	46	475
	カラオケ	101	234	0	335
映画	邦 画	664	0	276	940
	洋 画	939	0	321	1,260
	アニメ	1,364	0	832	2,196
その他		882	0	504	1,386
計		4,841	236	2,200	7,277
		(113%)	(74%)	(93%)	(105%)

備考: () 内は対前年比

2002年12月レコード生産実績

社団法人 日本レコード協会

数量：千枚・巻

単位

金額：百万円

表1. オーディオレコード

			12 月 実 績						2002 年（ 1 月 ～ 12 月 ） 累 計					
			数 量	構 成 比	前 年 同 月 比	金 額	構 成 比	前 年 同 月 比	数 量	構 成 比	前 年 同 期 比	金 額	構 成 比	前 年 同 期 比
シン グ ル	8cm CD	邦	561	2	108	270	1	131	7,801	2	84	3,808	1	99
		洋	1	0	18	0	0	31	167	0	32	53	0	116
		計	562	2	106	270	1	130	7,967	2	81	3,861	1	99
	12cm CD	邦	4,850	17	77	3,607	9	74	73,371	21	75	55,604	13	74
		洋	36	0	58	31	0	59	1,421	0	110	1,073	0	98
		計	4,887	17	77	3,638	9	74	74,793	22	75	56,677	13	74
	小 計	邦	5,411	18	79	3,877	10	77	81,172	24	75	59,412	13	75
		洋	38	0	54	31	0	58	1,588	0	88	1,126	0	99
		計	5,449	19	79	3,908	10	76	82,760	24	76	60,538	14	75
12cmCD アルバム		邦	17,075	58	108	27,238	69	96	169,303	49	93	262,590	59	88
		洋	5,542	19	86	7,400	19	82	76,616	22	100	108,678	25	99
		計	22,617	77	102	34,639	88	93	245,919	72	95	371,268	84	91
C D 合 計		邦	22,485	77	99	31,116	79	93	250,475	73	86	322,002	73	85
		洋	5,580	19	86	7,431	19	82	78,204	23	100	109,804	25	99
		計	28,066	96	96	38,547	97	91	328,679	96	89	431,806	97	88
アナログ ディスク		邦	24	0	47	26	0	74	573	0	53	645	0	58
		洋	2	0	9	2	0	11	124	0	59	137	0	58
		計	25	0	37	28	0	52	697	0	54	782	0	58
カセット テ ー プ		邦	1,185	4	84	973	2	99	12,921	4	86	10,495	2	87
		洋	3	0	103	2	0	85	52	0	85	46	0	88
		計	1,187	4	84	975	2	99	12,972	4	86	10,542	2	87
総合計		邦	23,694	81	98	32,114	81	93	263,968	77	86	333,142	75	85
		洋	5,584	19	86	7,435	19	82	78,379	23	100	109,987	25	99
		計	29,278	100	96	39,550	100	91	342,348	100	89	443,129	100	88

表2. ビデオレコード

			12月 実 績						2002年（1月～12月）累 計					
			数 量	構成比	前 年 同月比	金 額	構成比	前 年 同月比	数 量	構成比	前 年 同期比	金 額	構成比	前 年 同期比
DVD			5,814	83	130	11,313	72	102	53,836	80	139	90,358	67	110
LD・その他			147	2	101	243	2	84	1,853	3	87	3,123	2	87
テ ー プ			1,064	15	62	4,083	26	69	11,782	17	70	42,388	31	67
合 計			7,025	100	111	15,638	100	91	67,471	100	117	135,869	100	91

表3. オーディオ/ビデオ合計

			12月 実 績						2002年（1月～12月）累 計					
			数 量	構成比	前 年 同月比	金 額	構成比	前 年 同月比	数 量	構成比	前 年 同期比	金 額	構成比	前 年 同期比
オーディオ			29,278	81	96	39,550	72	91	342,348	84	89	443,129	77	88
ビ デ オ			7,025	19	111	15,638	28	91	67,471	16	117	135,869	23	91
合 計			36,303	100	98	55,188	100	91	409,819	100	93	578,998	100	89

<参考>表4. 複合型CD（CD-G、CD-I、CD-ROMなど）

			12月 実 績						2002年（1月～12月）累 計					
			数 量	構成比	前 年 同月比	金 額	構成比	前 年 同月比	数 量	構成比	前 年 同期比	金 額	構成比	前 年 同期比
邦 盤			10,165	100	79	1,398	100	89	120,571	100	89	14,250	100	88
洋 盤			0	0	-	0	0	-	0	0	0	0	0	0
合 計			10,165	100	79	1,398	100	89	120,571	100	89	14,250	100	88

備考 1. 本年実績は、会員会社「24社」の集計である。当会員会社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

THE RECORD 2003年2月号
社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 富塚 勇

編集人 田辺 攻

発行日 2003年2月10日

発行 社団法人 日本レコード協会

〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-3 日鐵木挽ビル2F

TEL.03-3541-4411 (代)

FAX.03-3541-4460

URL:<http://www.riaj.or.jp/>



COPY CONTROL CD

Respect Our Music